



# 鶴嶺中学校だより



学校だより NO10  
令和7年1月14日  
校長 阿部 知宏

新しい年が明け、本校も1月7日（火）より新たなスタートを切りました。当日は、年末同様、体育館工事のため全校集会ができず、私個人としては残念ではありましたが、日々、生徒の皆さんの元気な姿を見ることができて暖かな気持ちで過ごさせていただいています。本当にありがたいことです。

保護者の皆様、今年もよろしくお願いたします。

## 全校集会で生徒の皆さんに話したこと（要約・要点）

「12月24日」

### ①コミュニケーションと人間関係

（体育館工事の関係で、12月24日（火）の集会が放送集会となってしまった状況から）「放送室」のマイクを通じての挨拶では、生徒の皆さんの顔や様子が分からないので、体育館での話の時と比べて私自身、どうしても気持ちのこもり具合が違ってしまい、ということをお伝えしました。スポーツの選手やコンサートを行うアーティストの方々も観客がいるからこそ、よりアグレッシブになれるのだろうし、仕事においても難しい交渉やトラブル等での謝罪の場面、無理なお願いをするとき等も、直接会って話をする中で、お互いに理解が深まる可能性が高まるとともに、私自身（話し手）にも力を与えてくれるなど、とても素晴らしいものであること、そして、その理由は直接会うことで、文字や音声では伝わりづらい、その人の人柄や気持ち・思い・熱意・誠実さ等が伝わるからです、ということをお話しました。その上で、コミュニケーションをとるのであれば、悪口や人を中傷するようなものではなく、お互いに良い影響を与え合うようなコミュニケーションを取りましようと呼びかけました。

### ②命の大切さ：事故や事件に巻き込まれないために…

1年前のお話を思い出して欲しかったので「ウクライナ戦争」や「ガザ地区」の話題から「あたりまえのことに感謝すること」の大切さについて再度簡単ではありますが話をしました。同時に、何の罪のない人の命が奪われる不条理さ、戦争だけでなく事故や事件に巻き込まれて命を失ってしまう悲しみ等についても言及しました。その上で、北九州での事件を例に、自分ではどうしようできないこともあります「危険な場所や人」を避けたり「嫌な予感」がしたら立ち止り、誰かに相談したりするなどの対応策についても触れました。

更に、「一寸先は闇」「油断大敵」などの「ことわざ」を紹介して、身近な危険な例として「交通事故」への注意を呼びかけました。（下校時の生徒の広がりへの厳しいご意見が学校の電話にかかってくることも伝えました。）

最後に、SNSの便利さと有用性を認めながらもフェイクニュースや危険な勧誘、闇バイトなどの問題に言及するとともに、冬休み期間中、油断せず、危険を回避してほしいこと、そして、1月7日に皆さんと元気で会えることを楽しみにしている、とお話しました。

「令和7年1月7日」

### ①箱根駅伝

冬休みの12月31日（火）に、私は窓ふき掃除中に腰を痛めてしまったため、お正月はテレビばかり見て過ごしました。その中で一番印象に残った番組は「箱根駅伝」でした。毎年のことですが中継所で倒れこむ選手の姿を見て、順位やタイムに関係なく「全力を出し切る姿」に強く心を打たれるんです。スポーツに限らずどの様な分野でも一生懸命な姿は、周囲やその姿を見た人たちに勇気を与えその人々の生きるエネルギーに変わるものなのですね。

ところで、自分の人生を振り返った時、「全力を出し切った」ことはあったかなあ、と思ってしまう。

100%とはいかないものの今後の人生を自分なりに納得できるような活動をしていきたいと強く思いました。

## ②お正月の抱負？いつやるの、今でしょ

お正月は、今年の抱負や目標を掲げて「\*\*をやりたい」などと心に誓うことが多いですね。それはそれで良いことだと思うのですが、過去を振り返ってみると、私の場合は、その様な目標をお正月に掲げることを何十回と繰り返してきたのですが、情けないことに「行動に移さなかったこと」や「移しても長続きせず挫折してしまったこと」ばかりで、今現在何も変わっていないなあ、ということに気が付いたんですね。

その上、お正月の抱負や目標を一度あきらめてしまうと、なんとなく前向きになりやすい次のお正月まで目標を定めず、そのままズルズルと日々を過ごしてしまっていたんですね。ですから、私の場合は、せっかくのモチベーションが高まりやすいお正月ですから、抱負や目標を掲げることは継続はしますが、それよりも「やろうと思った時」に「実行する」ことを、もっと大切にしたいと考える様になっているんです。昔、とある予備校講師である方が「いつやるの?」「今でしょ」と言っていました。正にそれが私には必要なんですね。

繰り返しになりますが、結局、私は実行力がなく未だに学生の頃から抱いていた目標を達成できていないんです。その思い、目標とは…「英会話」と「ピアノ」なんです。そして、いつの間にか白髪ばかりの今の年齢になってしまいました。まさに「光陰矢の如し」ですね。

中学生の皆さんは自分にはまだまだ時間があると感じている人が多いと思いますが、私の様に頭でばかり考えて実際に行動することが苦手なタイプの方は「やりたい」「やろう」と思った時にすぐにでも行動に移すことに挑んでみてもよいのでは、と考えています。いかがですか？一緒にやってみませんか？

そして、もし、実際に行動に移すことができれば、箱根駅伝の選手のように全力で挑むことができる何かに巡り合えるかもしれません。やるかやらないかは、誰かではなく自分自身で決められるのですから…

## 1/16 (木) 新入生説明会…体育館工事中 (12月～1月末の予定) でご迷惑をお掛けします。

体育館は工事中のため、16日(木)も様々な資材が置かれている状況です。それでも例年通り、本校の体育館で「令和7年度に向けた新入生説明会」を行いたいと思います。

令和7年度の新入生の人数は確定していませんが、通常級は7学級になる可能性があります。支援級は2学級か3学級かの境目です。鶴中は最近、特に生徒数が増えているため、教室数の確保には毎年頭を痛めている状況です。それでも、多くの新入生をお迎えできることは大変うれしく思います。早く新入生に会いたいです。

## 令和7年度のPTA加入のルールについて検討しています。

標記の件につきましては、1月10日(金)付で、PTA会長発の保護者の皆様向け通知が配付されました。内容は、令和7年度よりPTAの加入方法を変更することを検討しています、というものでした。具体的には、在校生の保護者の皆様を含めて令和7年度からは本来の形である加入の意思を書面等で確認することを検討しております。

PTA活動には様々なお考えがあるかと思いますが、鶴嶺中学校の教育活動には欠かせない存在となっています。保護者の皆様のご協力で特に学校行事や子どもたちの登下校など、地域の方々のお力も借りながら本校の生徒たちがより安全で安心できる環境を整えることができています。加入のルールを変更したとしても、保護者の皆様におかれましては引き続きPTA活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。